

武生中央公園再整備計画

～市のセントラルパークとして、老若男女が憩う・遊ぶ・見る・学ぶ・楽しむことのできる空間の形成～

平成28年9月22日 正面エントランス完成♪



かこさとし氏監修

武生中央公園をもっともっと楽しく！

武生中央公園を子どもたちの創造力や探究心を育み、「ワクワク・ドキドキ」の体験ができる空間として整備し、利活用をはかる。

《基本コンセプト》

- (1) 次世代の人が育つ空間
- (2) 絵本の世界を映し出す空間
- (3) 地域活性化の核となる空間

《基本コンセプトからの具体的な展開》

(方針)

- (1) 次世代の人が育つ空間
 - ・大人との関わりの中で外遊びの機会を創出していくための環境を整える。
 - ・科学を学べる環境を整える。
 - ・落ち葉やたねのあそびに関連付けた植栽を施し、伝承遊びを学べる環境を増やす。
 - ・先人や歴史に対する理解と、郷土への愛着を深めてもらう環境を整備する。
- (2) 絵本の世界を映し出す空間
 - ・絵本の世界に入り込んだような世界を再現し、魅力を引き出すことを基本に、多面的な空間の演出を図る。
- (3) 地域活性化の核となる空間
 - ・市民活動の拠点となる公園づくりを行う。
 - ・全国で唯一のかこさとし氏監修の公園として、上記の方針を具体化する。

☆3つの空間を重ね合わせ、空間形成をはかる

『紙芝居舞台型看板』の設置

「次世代の人が育つ空間」の方針に示している『外遊び』や『伝承遊び』、『科学』を学べるきっかけとなるように紙芝居舞台型看板を設置する。 ※設置予定箇所: 地図の ★ の場所

- ・絵本「あそびずかん」の星のページや、落ち葉や種のおもちゃのページを看板に表現し、星空や落ち葉などを学ぶサポートをする。
- ・絵本「こどもの行事しぜんと生活」の『こままわし』や『たこあげ』などの遊びを看板に表現するとともに、遊び場を市民の広場に設ける。
- ・かこさとしふるさと絵本館「石石」から武生中央公園までの誘導サインとして、「とこちゃんはどこ」とこちゃんのイラストをはめ込み、とこちゃんを探しながら公園へ誘導する。

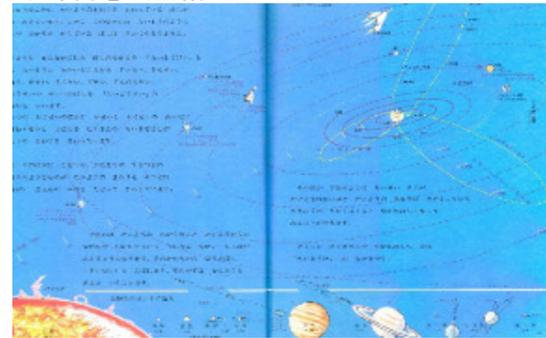
《整備概略図(案)》

『方位盤モニュメント』の設置



かこ氏の寄贈絵画「未来への行進」の詩を方位盤に表現し、村国山や日野山、加賀白山、富士山、チョモランマの方位、距離を明示する。方位盤のシルエットは太陽をイメージし、方位盤の中心に地球のオブジェを配置する。

『平面噴水』(整備イメージ)



絵本「宇宙」を題材に、円形の親水広場(直径20m)内の平面噴水の中央部(直径5m)に太陽を、その周辺に惑星を配置し、惑星の大きさと距離をリアルに学べる場とするため、カラー平板ブロックで整備する。

『せせらぎ』(整備イメージ)



絵本「かわ」をつなぎあわせ、上流から下流にかけて床石の大きさを小さくし、「かわ」本来のイメージを演出し整備する。



整備状況写真

正面エントランスの仕掛け

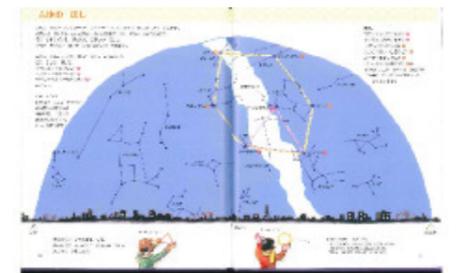
- ① 絵本「からすのパンやさん」の『いずみがもり』をイメージし、平板ブロックの色彩を決定。
- ② 紙芝居舞台型看板に、公園の中へ向かって飛んでいく「からす」を表現。
- ③ 「いずみがもりくろもじさん ちょうめ」をイメージし、『くろもじ』を植栽。



紙芝居舞台型看板

くろもじ

『星空観察』(紙芝居舞台型看板の設置)



絵本「あそびずかん」の星のページを紙芝居舞台型看板に表現し、星空観察のサポートをする。星座の絵は四季に合わせて入れ替える。

